

経営比較分析表（令和元年度決算）

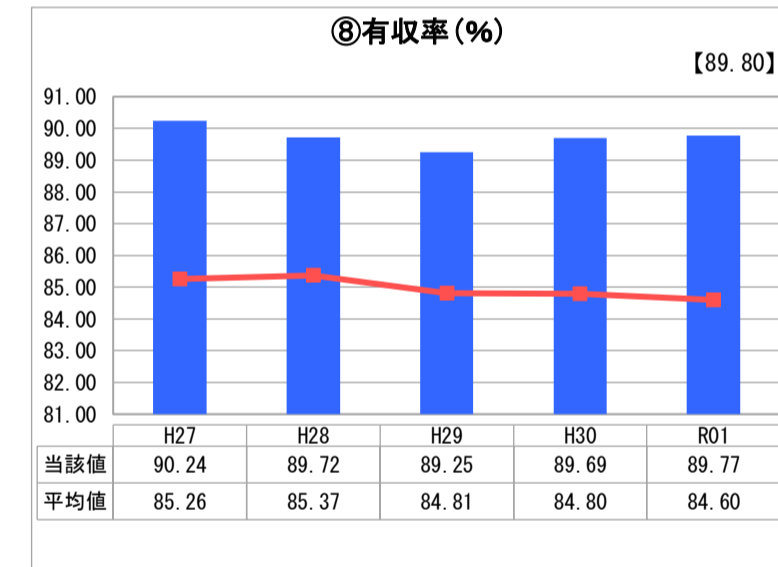
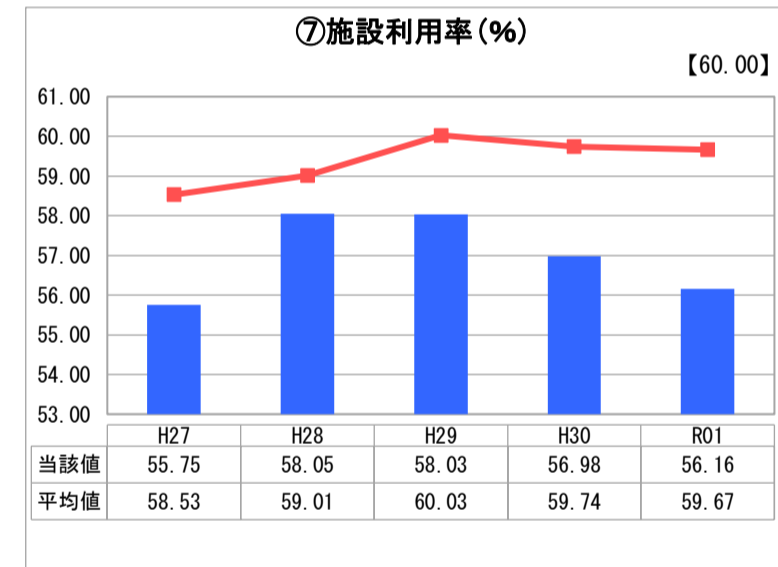
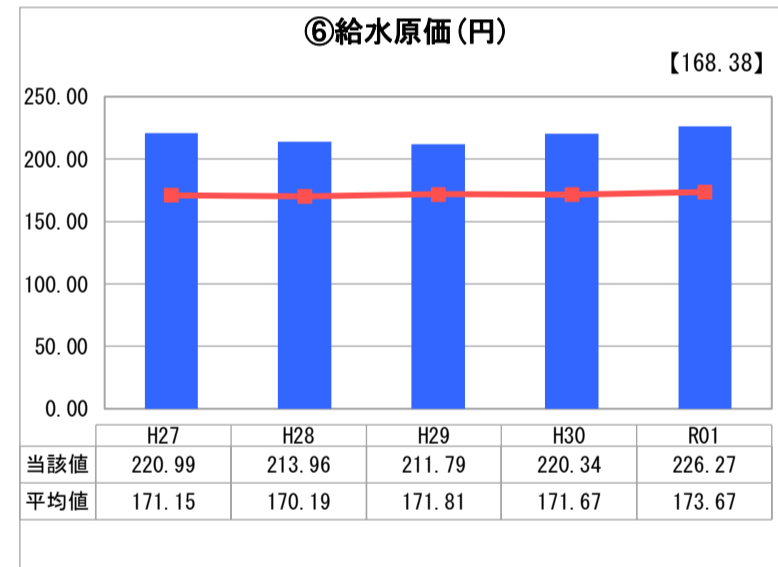
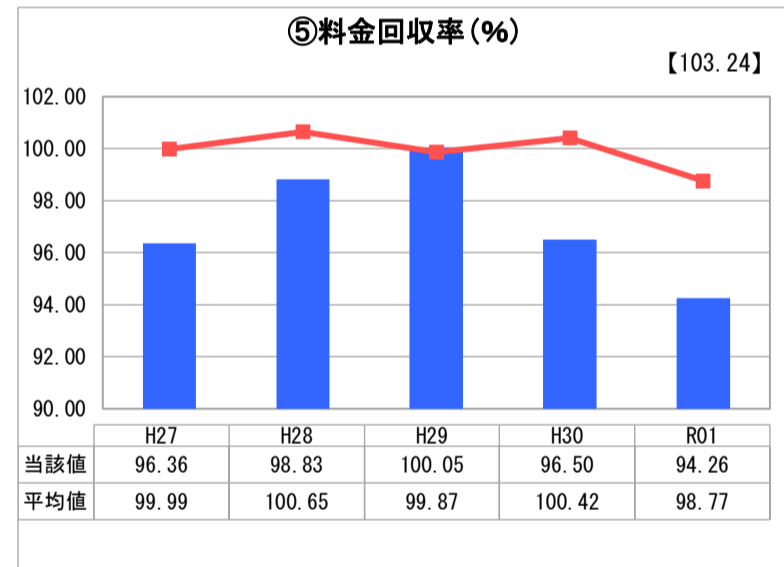
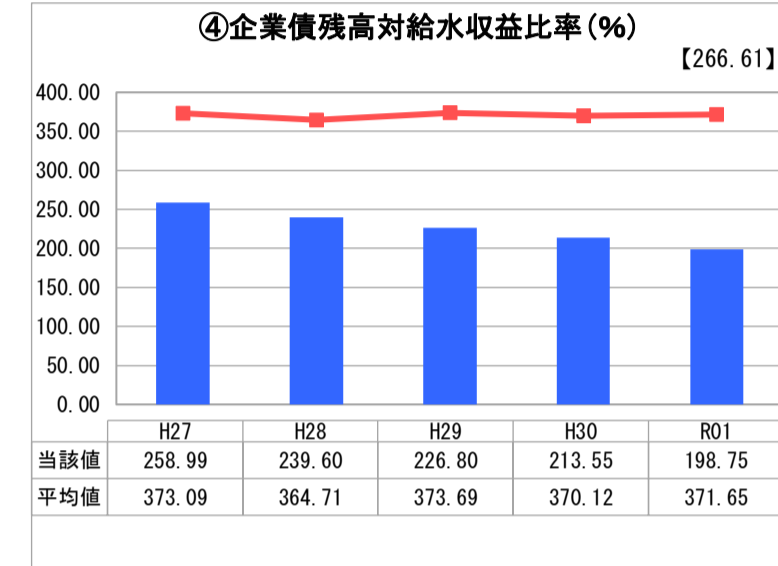
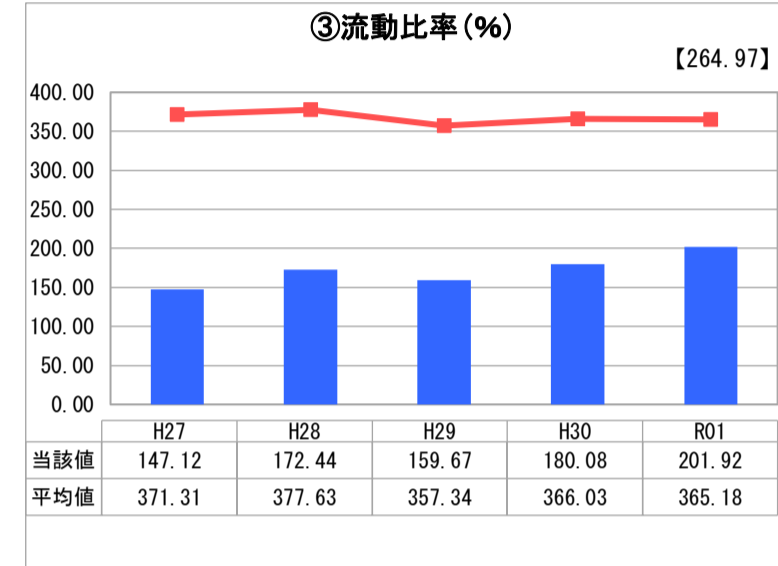
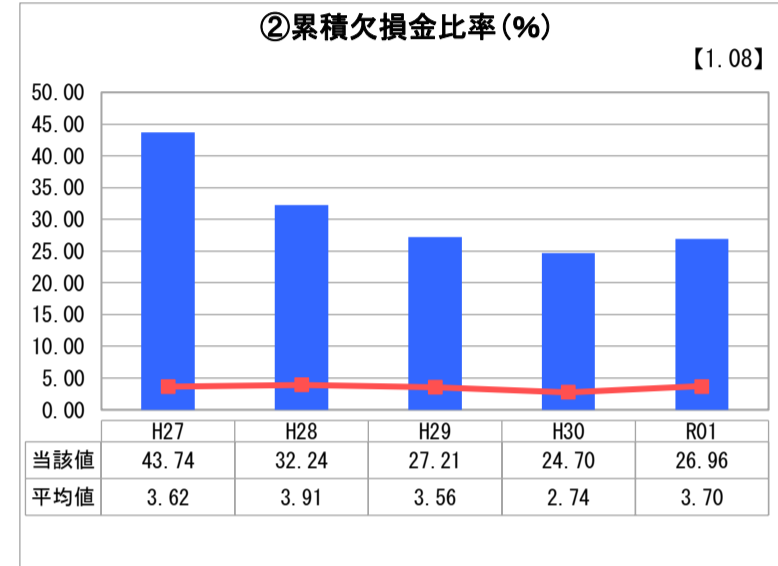
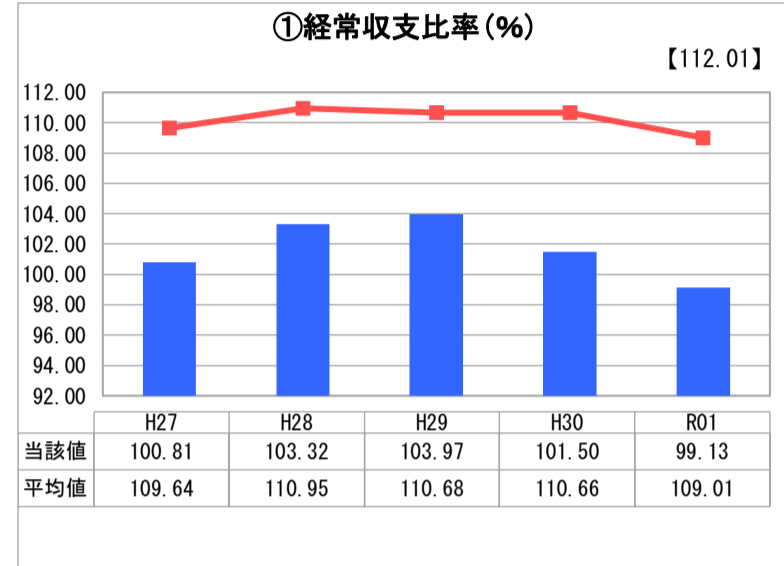
兵庫県 西脇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	87.17	99.80	3,575	

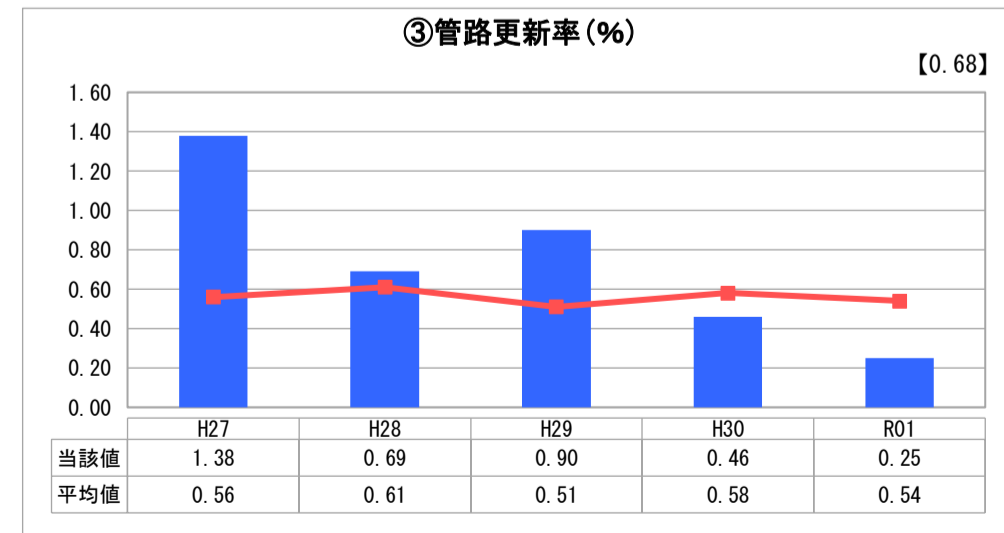
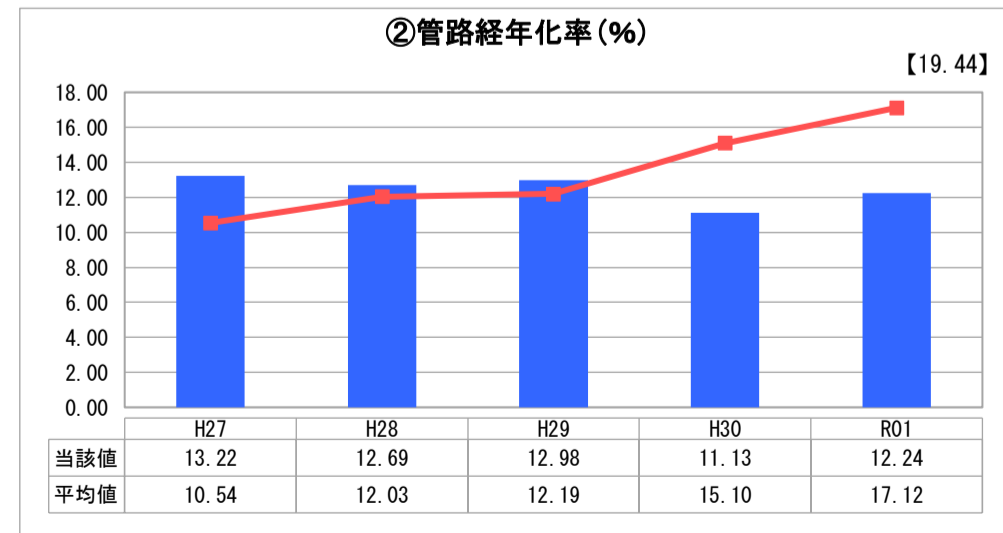
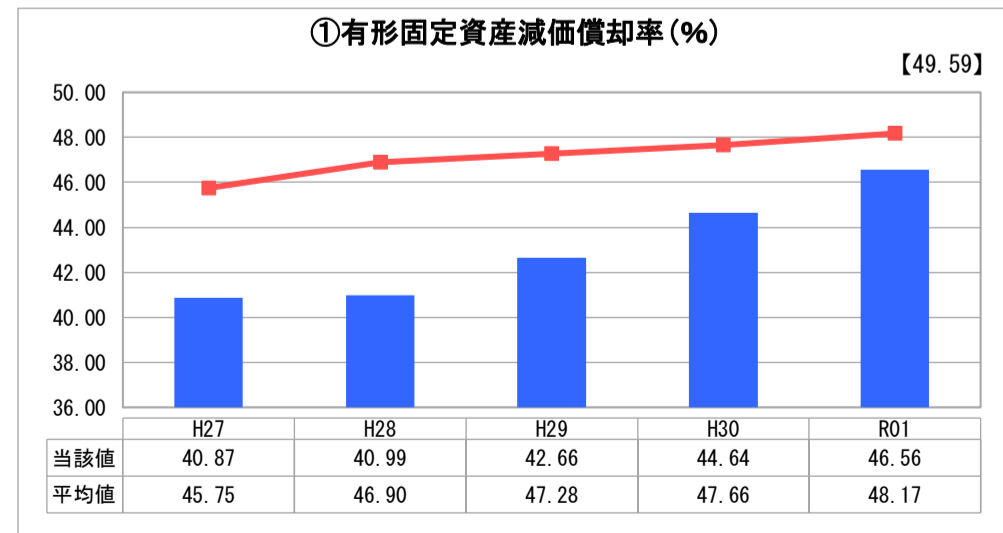
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,412	132.44	305.13
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
40,052	111.57	358.99

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、給水収益等の収入の減少及び県営水道受水費等の支出の増加から100%を下回りました。また、料金回収率も減少傾向にあります。令和元年度決算では純損失が発生しており、累積欠損金が増加しています。全国平均及び類似団体平均と比較して給水原価が高い水準にあります。このような経営状況を踏まえて経営戦略に基づき、施設の統廃合、廃止を順次進め維持管理経費を抑制していきます。(①②⑤⑥経営指標参照)

流動比率は、全国平均及び類似団体平均を下回りましたが、選択と集中による計画的な工事の発注等に努めており、上昇傾向にあります。企業債残高対給水収益比率については、経営戦略において投資額から国庫補助金等の財源を差し引いた額の30%を企業債の借入限度額としており、新たな借入れを抑制しています。現在実施している施設の統廃合、廃止に加え、漏水調査を定期的に行い、予防保全と効率的な水道水の供給に努めます。(③④⑦⑧経営指標参照)

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、全国平均及び類似団体平均より低い状況ですが、年々上昇しています。予防保全と事後保全で対応できる施設に分類し、施設更新時期が集中しないよう計画的に整備を進めていきます。(①経営指標参照)

管路経年率は、全国平均及び類似団体平均を下回っています。法定耐用年数を超える管路を把握し、鉄道や道路管理者等関係機関と綿密に調整を行い、老朽管の早期管路更新に努めています。(②経営指標参照)

管路更新率は、全国平均及び類似団体平均を下回りました。当市では重要給水施設(基幹病院、指定避難所)への配水管から更新を進めており、選択と集中により効果的な老朽管更新工事を実施しています。(③経営指標参照)

全体総括

西脇市では、近年、県営水道の受水施設整備や浄水場新設工事、管路の耐震化工事などの施設整備を積極的に進めてきた結果、減価償却費の増加により経営指標が悪化しています。また、水道料金収入も減少していることから、経営戦略に基づき、施設更新に優先順位を付け、的確に効率良く運営していきたいと考えています。